

高齢者や障がい者がいる家庭の避難 —こんなとき、どうしたらいいの？—

「わたくしたちができる支援とは～被災者支援、避難者支援」

文京学院大学人間学部教授
文京学院大学心理臨床・福祉センター
「ほっと」相談スタッフ
笹岡真弓

1

東日本大震災被災状況 (2011年10月11日現在)

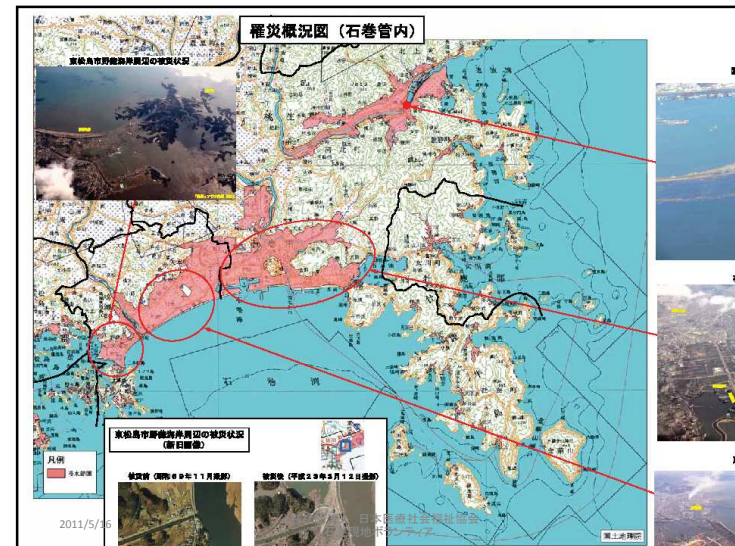
死者数	計	15822人
行方不明者数	計	3923人
負傷者数	計	5942人
避難者数		
全国(北海道から沖縄まで含めて)		計 71578人

2

東日本大震災の特徴

1. 地震による被害<津波による災害
2. 広域の沿岸部であり、交通遮断がある
3. 津波による溺死者が多数である。
4. 「生か死か」で、真ん中がない。
5. 現地の専門家も被災者である。
6. 二次被害地域の存在。
7. 支援者も体験したことのない甚大な災害である。

3



石巻市の被害状況 (H23.5.12現在)

■人口 : 162,822人
 ■死亡 : 2,977人
 ■行方不明者 : 2,770人

- ◆ 死者数は安置された遺体数であり、身元不明者を含む。行方不明者数は4月4日現在
- ◆ 世帯・人口は2月末現在。行方不明者数は、実数が把握できるまで更新を停止している。

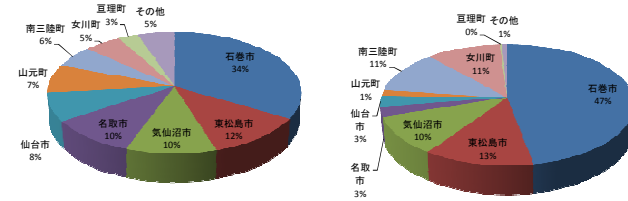
石巻市ホームページより

石巻市の被害状況 (死亡・行方不明)

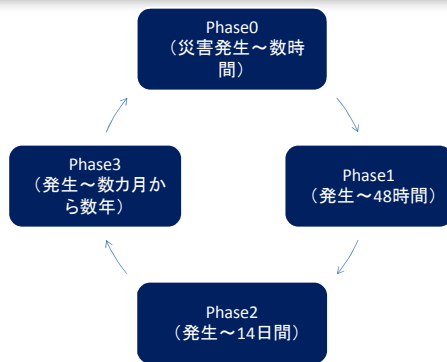
資料: 宮城県ホームページデータ(2011.5.12現在)より作成

死亡(宮城県全体8840人)

行方不明(宮城県全体5889人)

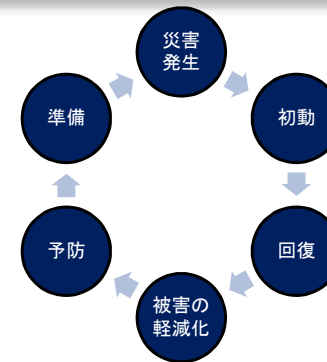


日本赤十字社 災害管理サイクル



7

米国連邦緊急事態管理局(FEMA) 災害管理サイクル



8

DMAT (Disaster Medical Assistant Team) first,
next to Social Work

災害発生期(超急性期)

●超急性期

災害の発生により、人的・物的被害が発生し、被災地以外からの救援活動が開始されるまでの時期。

医療現場では、災害現場に最も近い医療機関では、傷病者数に圧倒され始めることがある。大災害のこの時期には、重症患者は医療機関に到達しない。

消防・警察組織においてもこの時期は、被災地内に留まり全体が把握できないことが多い。

10

災害発生期(急性期)

●急性期

近隣の被災地外から軽装備の救援が開始されてから、重装備を含めて必要な救援が到着するまでの期間。

重症患者が搬入され始め、外来部門は最も混乱する期間。トリアージを行い応急処置、検査、優先順位を決めた治療。

警察・自衛隊による被災現場の秩序の維持。

11

救援期(急性救急期)

●急性救急期

* 数時間または24時間～48時間

災害管理

クレーンなどの重機を使用した重救助。

援助の必要な生存者の確認

医療管理

重救助で救助された重症者が医療機関に運ばれてくる。

12

救援期(慢性救援期)

●慢性救援期 48時間～1週間

災害現場

透析患者や慢性疾患患者の被災地外への搬送が必要となる。

医療管理

生き残った被災者の罹病率と死亡率を災害前の水準に維持する。被害を受けた医療機関でも、日常レベルの診療が行えるように整備が進んでくる。

災害管理

ライフラインの復旧が進む一方で住居を失った被災者に対して仮設住宅への避難が開始される。

13

救援期(復興期)

●復興期 1週間～数カ月、数年間

災害現場:

瓦礫の撤去や仮設住宅の建設が進み転居が行われる。

医療管理

外科的に創感染が発生する。ガス壊疽、破傷風等の重症感染症への配慮必要。

公衆衛生

平時では流行しない伝染病が発生することがある。衛生管理を保つための重要な資源は水。

14

救援期(復興期)

●復興期 1週間～数カ月、数年間

精神的障害と防御機構

被災の瞬間やその後の体験を振り返りようになる、家族や友人を失ったことを実感し始める。孤立感や将来への不安がピークになる。

ASDとPTSD

急性ストレス障害、4週間以上継続するものは、PTSD

災害管理

ロジスティックスの支援が大きな役割を示す。

15

要介護状態の避難者
命の綱は
電気！！！！



16

在宅 要介護状態の方

電気がないと・・・

吸引

エアマット

呼吸器など、使用不可。

床ずれも悪化してしまう。

17

第二避難所について

県域を越えた、避難者の旅館・ホテル等への受け入れについて

(2011年3月24日付 通知)

- ・二か月を超えてもOK
- ・1泊3食付き
- ・1人当たり5000円

18

仮設住宅の様子①



19

仮設住宅の様子②



20

仮設住宅の状況

- 9月現在、石巻市内の沿岸部等は危険地域と指定され、仮設住宅建設用地の確保は容易ではない状況。改修して居住することは自己責任とされ許されますが、新たに建築許可はおりない。
- そのため、石巻市内の仮設住宅の多くは、土地の確保が困難であり、公園の一角や工業地などに建設されている。トゥモロー・ビジネスタウンは、災害支援の自衛隊の拠点であったところを整地し、石巻市全体の半分にあたる約3000戸の仮設住宅が予定されている。
- 竣工予定は、避難所が閉鎖する時期とほぼ同時の9月末です。遊楽館の利用者の中にも、トゥモロー・ビジネスタウンの仮設住宅の完成を心待ちにしている方が複数いる。

21

避難所閉所まで(2011年9月30日)

- 福祉避難所の遊楽館に最後まで入所中の方は、落選した人や当選したにもかかわらず、何らかの理由でキャンセルを繰り返している人が多い。
- 旧市街地の仮設住宅の抽選はほぼ終了している。残念ながら、旧市街地から離れた河南・河北・桃生地域の仮設住宅を選択せざるをえない状況。
- 生活環境としては未整備であり、入居を躊躇する方も多い。ソーシャルワーカーは、一人ひとりの状況を理解し、希望や考えを伺いながら支援を続けている。

22

仮設のメリット

- 津波の被害を受けない場所での生活が可能
- 避難所よりプライバシーが保たれる
- 人・世帯が密集しているため、緊急時の対応が可能(独居高齢者等)
- 世帯数に応じた間取りの確保が可能
- 仮設場所によってはコンビニ・スーパー等利便性が良い
- 玄関先までのスロープ設置がされている箇所があり、車椅子利用可。

23

デメリット

- 平地が砂利のため、要介護者の歩行等に支障がでる可能性あり
- 基本的に、バリアフリー機能がない
- (玄関の上がり框、部屋窓と物干竿の位置に若干の距離あり段差解消機などが必要)
- 仮設数によっては住宅間の幅が狭いため、音・声漏れの可能性あり。
- プライバシーが保たれないとも捉えられる
- 建設場所によっては、住宅と駐車場が離れている、スーパー等の周辺施設が全くない。
- 仮設住宅地内の集会場にかかる鍵が市町村管理のため利用しづらく、入居者間の交流やコミュニティ形成のきっかけが作りにくい

24

<仮設に入居する際に…>

- 家電6点(冷蔵庫・洗濯機・テレビ・炊飯器・電子レンジ・電子ポット)必要備品が支給。
- 最低限の生活水準は保たれ、生活に必要な設備・備品購入の費用負担や手間は省くことが可能。
- しかし、仮設建設地区が旧市街地から離れているため、生活する上での利便性は低い印象を受ける。(特に河南地区の建設区域)移動は車中心のため、高齢・障害があり自力で対応できない場合、買い物・受診等での日常生活支援や移動手段の確保が必要。

25

支援の必要性

- 被災者が被災者を支援している。
(専門家の疲弊防止・域外流出の回避)
- 保健医療福祉システムの機能不全
(従来、資源不足の地域。多くの専門職が犠牲。人員不足のための二次被害防止)
- 大規模被害であり、地元だけでは解決不可。
(国家として取り組む問題)

26

一般避難所の課題

- 二次避難が促進しない。(移動への抵抗)
- 行政の情報が届かない、問題が解決しない等への苛立ち。(行政不信)
- 衣・食・住・医療体制・移動手段の不備(心身の健康度の低下)
- 失業・倒産
- 複数の喪失体験。(家・仕事・家族・友人・知人・コミュニティの崩壊など)
- 余震・津波への恐怖心。

27

地域を失ったあとで…… 資源を創る支援

